



## 特別会計(5会計)の決算

(単位:億円)

| 会計名     | 収入    | 支出    | 差引  |
|---------|-------|-------|-----|
| 国民健康保険  | 89.4  | 89.4  | -   |
| 介護保険    | 104.1 | 102.2 | 1.9 |
| 後期高齢者医療 | 20.5  | 20    | 0.5 |
| 産業団地    | 30.4  | 30.4  | -   |
| 公債管理    | 69.1  | 69.1  | -   |
| 合計      | 313.5 | 311.1 | 2.4 |

市の会計には「一般会計」とは別に、国民健康保険や介護保険などの特定の事業を運営する「特別会計」と、病院や水道など民間企業のように事業収益を集めて運営する「企業会計」があります。

※企業会計では、資本的収支の不足分を、事業を運営して生じる純利益と現金支出を伴わない費用から生じる内部留保資金で補っています。

## 特別会計と企業会計

## 企業会計(3会計)の決算

(単位:億円)

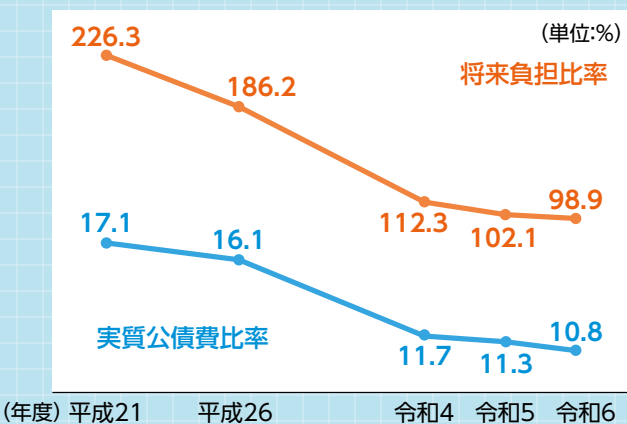
| 会計名  | 収益的収支 |       |      | 資本的収支 |      |       |
|------|-------|-------|------|-------|------|-------|
|      | 収入    | 支出    | 差引   | 収入    | 支出   | 差引    |
| 水道   | 27.5  | 21.8  | 5.7  | 1.5   | 13.0 | ▲11.5 |
| 下水道  | 38.0  | 38.7  | ▲0.7 | 42.5  | 56.2 | ▲13.7 |
| 市民病院 | 98.3  | 103.0 | ▲4.7 | 5.1   | 9.1  | ▲4.0  |
| 合計   | 163.8 | 163.5 | 0.3  | 49.1  | 78.3 | ▲29.2 |

### 収益的収支

1年間の営業結果を表します。

### 資本的収支

施設の建設や整備に関する収支です。



健全化判断比率の指標については、実質公債費比率が前年度比0・5%減少し10・8%、将来負担比率が前年度比3・2%減少して98・9%となりました。今後も引き続き、健全な財政運営に努めます。

※実質公債費比率とは、収入額に対する借金返済額の割合のことで、将来負担比率は収入額に対して市が抱えている負債の割合のことです。

## 健全化判断比率の状況

# 令和6年度 決算のあらましと市の財政状況

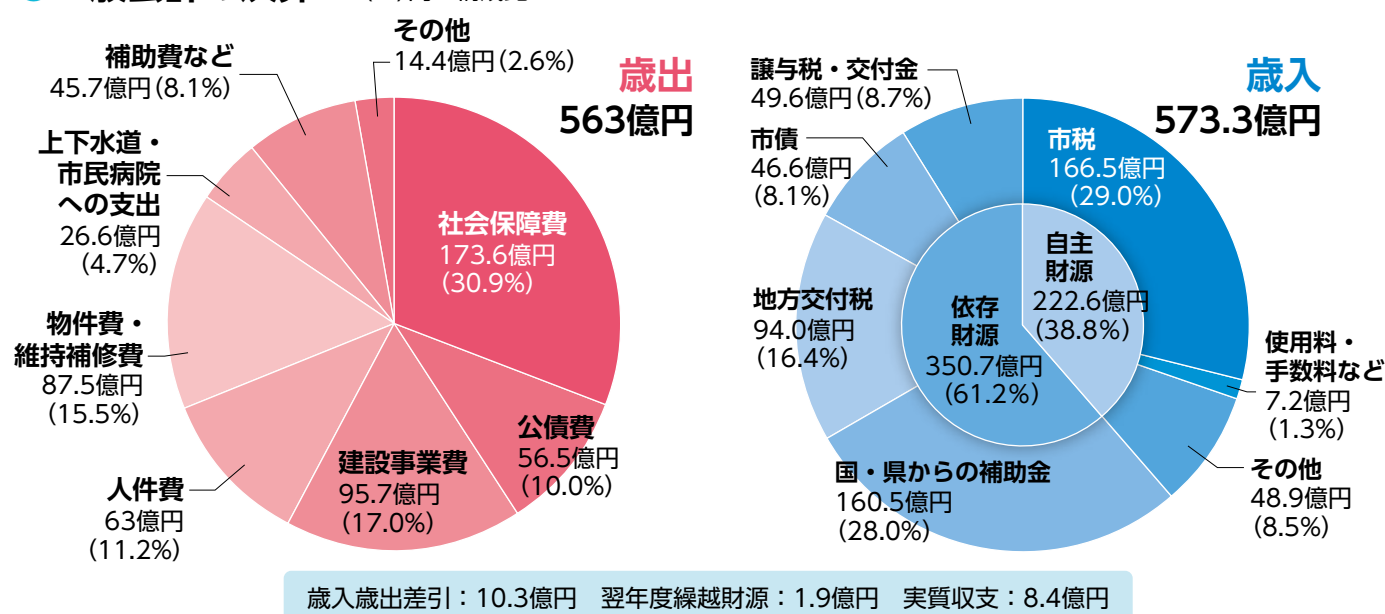
令和6年度(令和6年4月～令和7年3月)の決算についてお知らせします。

問い合わせ

財政課 ☎24・8144

## 一般会計の決算

※( )内は構成比



## 令和6年度決算の特徴

- **歳入では、市税において国の定額減税の影響により0・9億円減少しましたが、減税に伴う減収分を補填する国からの特例交付金との合計では、約4億円の増加となりました。**また、国及び県における税収の伸びにより、国・県からの交付金などが増収になったほか、産業創生のための基金の繰入金などにより、歳入総額は、573・3億円の決算額となりました。
- **歳出では、社会保障費の増加に加え、企業立地助成や、災害復旧の本格化に伴い投資的経費が伸びたことから、決算の総額は令和2年度に次ぐ過去2番目の規模となりました。**国や県の補助金の有効活用や効率的な予算執行に努めた結果、収支としては、差し引き8・4億円となりました。
- **世界に時めく日本海側の拠点都市こまつ**
  - ・小松駅空港間の自動運転バス運行
  - ・ビルボールド市・彰化市との交流
- **ものづくりが誇りの産業創生都市こまつ**
  - ・正運寺産業団地進出企業などへの企業立地助成
- **子どもたちの輝く未来創造都市こまつ**
  - ・こども預かりサービスステーション運営
  - ・児童手当の対象者拡充
- **誰もが暮らし続けられる生涯安心のこまつ**
  - ・消防指令システムの高機能化
- **自然が映え文化が息づくふるさとこまつ**
  - ・白山信仰関連遺跡として「那谷寺遺跡」の遺跡調査開始
  - ・人間国宝吉田美統展の開催
- **ワンランク上の生活空間あふれるこまつ**
  - ・未来型図書館づくりの推進
  - ・末広野球場リニューアル

## 市の借金残高・貯金残高

令和6年度の小松市の市債(借金)残高は、繰上返済を行うなど約51億円改善し、全会計で約1046億円となりました。

貯金(主要3基金・決算積立後)は、産業創生のための将来に向けた投資などに備えて基金を積み立てた結果、令和6年度末は、33億円となっています。

※主要3基金とは、財政調整基金、地域経済活性化対策基金、減債基金の3基金のことです。

